

今宮駅(JR環状線)②

木津勘助と折口信夫ゆかりの地へ

「大阪あそび歩マップ集」
その2 No.082

なんば駅(地下鉄御堂筋線・四つ橋線・千日前線 南海本線・高野線)

JR難波駅(JR大和路線) 大阪難波駅(近鉄難波線・阪神なんば線) 大国町駅(地下鉄御堂筋線・四つ橋線)

JR今宮駅

かつては今宮駅を廃止して貨物整備の移転先地にしようという計画が持ち上がったこともあります。地元住民の強い要望を受けて白紙撤回されました。地元密着の駅として愛されている証でしょう。

①願泉寺

小野妹子の八男・多嘉磨義持が推古11年(603)に創建したといわれています。江戸時代は紀伊徳川家の参勤交代の陣屋となり、徳川家より三ツ葉葵の寺紋を許されています。また、伊達政宗が寄進した客殿・茶室(国宝)がありました。折口信夫の墓があります。

②唯専寺

用明天皇(585~587)の時代に迹見赤摂が草庵を構えたのが起こりといわれています。三十三世の光重が蓮如上人の弟子となりました。木津勘助の墓があります。

③大国主神社・木津勘助銅像

古くより「今宮の戎さん」(今宮戎神社)と並んで「木津の大黒さん」と親しまれ、初詣や十日戎は「戎、大国、両社詣って本まいり」といわれます。木津勘助



は木津川の開削など土木技術者として活躍した人物です。寛永16年(1639)に大坂が大飢饉となった際に大坂城の備蓄米の施しを願い出ましたが聞き入れられず、「お蔵破り」を決行して大坂庶民を救ったといえます。

④折口信夫生誕の地(鶴町公園)

民俗学者の折口信夫は明治20年(1887)に医師・折口秀太郎の四男として西成郡木津村市場筋に生まれ、それを記念した石碑です。

⑤難波八阪神社

社伝では仁徳天皇の御代に難波郷に悪病が流行して牛頭天王を祀ったのが神社のはじまりといわれています。正月に行われる綱曳神事は『摂津名所図会』にも紹介されて、平成13年(2001)には大阪市初の無形民俗文化財に指定されました。高さ12メートル、幅11メートル、奥行10メートルという巨大獅子舞台が有名です。



⑥瑞龍寺(鉄眼寺)

もとは難波村の薬師堂でしたが、寛文10年(1670)に黄檗宗の僧・鉄眼道光和尚を招いて中興しました。鉄眼和尚(1630~82)は肥後国の人ですが寛文4年(1664)に『大蔵経』の刊行を発願。全国行脚して施財を集めますが、2度、洪水や飢饉による大坂難民の救済に施し、3度目に集めた浄財で、ようやく一切経の木版6956巻32万頁を完成させました。「鉄眼は一生に三度一切経を刊行せり」と偉業を讃えられ、昭和4年(1929)には昭和天皇より宝蔵国師の名を下賜されました。

地下鉄・南海なんば駅

